

星空を観察してみよう

10月・11月のほしぞら

◆このほしぞらと同じように見えるのは、右の表の時間だよ。

2025年10月1日
三重県立みえこどもの城 ドームシアター

	10月	11月
月の初旬	夜 10:00 頃	夜 8:00 頃
月の中旬	夜 9:00 頃	夜 7:00 頃

★月の下旬は、次月の初旬とほぼいっしょです。
★緑の目印は明るい星、赤い目印は惑星です。



～秋の夜空で、羽の生えた馬「ペガサス」を見つけよう！～

秋は明るい星が少ないですが、4つの星で形作る「秋の四辺形」をてがかりに星座や星を探することができます。秋の四辺形を見つけるために、まずは南の空の低いところで、秋の唯一の1等星（明るい星）「フォーマルハウト」を探しましょう。フォーマルハウトから南の空の高い位置を見て、秋の四辺形を見つけます。

秋の四辺形は、別名「ペガサスの四辺形」ともよばれ、「ペガサス座」の胴体となっています。前足や首から頭の星もありますが、街中ですべてを探すのは難しいので、秋の四辺形がつけられれば「ペガサス座」を探せたと思ってOKです★

秋の四辺形を形作る左上の星は「アルフェラッツ」という名前で、「馬のへそ」という意味があります。しかし、ペガサス座の星ではなく、実は「アンドロメダ座」というお姫様の『頭』の星になります。「馬のへそ、という意味なのになぜお姫様の頭なの？」と不思議に思いませんか？

実は昔、ペガサス座とアンドロメダ座はアルフェラッツを“共有”していたのです。しかし、1928年に「星座のルールをきちんとしよう！」となり、「アルフェラッツはアンドロメダ座の星」となりました。星空の不思議は、知れば知るほどおもしろいですね。ぜひ夜空を見上げて、「ペガサス座」さがしてみてください★ 次回の星空通信もお楽しみに！



なにコレ!? プラネタリウム ～土星の環が消える!?～



11月24日（月・休）開催

2025年11月25日（火）に土星の特徴である「環」の部分が、まるで消えたように見える「土星の環の消失」という現象が起こります。

どうやってみるの？ どういう仕組みなの？

そんな疑問を解決するイベントを、前日の11月24日（月・休）に行います！ぜひご参加ください★（※イベントの詳細はHPでご確認ください）